

## ◎「呉海軍警備隊・足摺探信所跡」の授業を実施

先週4日(金)の3・4校時目に総合学習(5～6年生)の授業として、足摺探信所跡のフィールドワークを行った。今日9日は、フィールドワーク後の事後指導の授業を実施した。この授業は、土佐清水市教研・社会科部会が主催する研修会の一環として開かれたもので、清水中・清水小・三崎小・足摺岬小等の社会科部員(校長を含む7名の教職員)が参加し、終了後、公開授業を基に熱心に研究協議が行われた。



授業は、下記のような流れで展開した。

### ①11月2日の授業の振り返り

児童に感想を聞きました。足摺岬の山中にこのような戦争遺跡があることをしらなかったの、びっくりしたとの意見が出されました。



### ②太平洋戦争について知る。

まだ、5年生も、6年生も太平洋戦争について授業で学習していなかったの、「いつ起こって」「いつ終わったのか」「戦況について」簡単に触れました。

#### —太平洋戦争とは?—

- ・日本軍のインドシナ半島(フランス領)進出
- ・これを警戒して米国・英国・中国・オランダが日本を経済的に包囲  
米国は、日本への石油輸出を禁止
- ・1941年(昭和16年)ハワイ真珠湾攻撃
- ・1941年12月8日～1945年8月15日(3年8ヶ月にわたる戦争=太平洋戦争)
- ・1942年(昭和17年)6月…ミッドウェー沖海戦  
日本が敗北して敗戦色が色濃くなる
- ・1945年8月6日広島・8月9日長崎に原爆投下  
8月15日・・・敗戦



③足摺探信所の建設について「何のために」「だれの手で」建設されたのか。

- ・足摺岬山上は地形的に障害物が少なく、電波がキャッチしやすい場所であった。敵機の飛来をいち早く知るため、ここにレーダー基地が建設された。
- ・昭和 17 年 5 月から足摺探信所
- ・『伊佐国民学校日誌』

「町男教員 勤労奉仕の為 男教員三人海軍ノ仕事に出る 四年生以上回収金物を松尾へ運搬作業に行く」

この日誌には、伊佐国民学校（現在の足摺岬小学校）の昭和 17 年(1942)5 月 30 日(土)の条に書かれている内容である。これにより足摺探信所の建設に伊佐国民学校から男性教員三人が出務したことが分かる。また、伊佐国民学校の小学校 4 年生以上の児童が戦争で抛出する鉄をリヤカー等で松尾地区に運搬したことが書かれている。

このように、昭和 13 年(1938)に制定された国家総動員法により、すべての国民が戦争遂行に協力しなければならなくなった。また、朝鮮半島の人々が、国家権力のもと危険なところに強制労働等で従事させられたり（徴用）、主に未婚女性が戦争遂行のため軍需工場に働きに行ったり、軍事的作業に従事したりした（女子挺身隊）。

足摺探信所のレーダー運搬は、朝鮮人により赤滯側から重量のあるレーダーを数基運搬したと伝えられている。また、レーダーのコンクリート基礎部分や兵舎・本部指揮所等の建設の砂やバラスの運搬に、沖ノ島の女子挺身隊の人々数十人が、伊佐公会堂に寝泊まりし、運搬に従事したという。



④まとめ・振り返り

- ・授業のまとめ、振り返りをワークシートに書く。
- これを全員で発表する。



授業終了後に、社会科部会（部長・平林也奈足摺岬小学校長）の所属教員 8 名と田村が授業後の研究協議を行った。社会科部会の各部員さんから「地域に残る教材、フィールドワークは、デジタル教材では味わうことができない貴重な資料であり、学習指導要領からその意義を位置づけ、学習計画に盛り込んでいく必要がある」という内容の意見が出された。地域に残る歴史・文化についての教材は、各校の独自性を踏まえて、年間指導計画に位置付けるべきであるという意見もあった。

↑ 公開授業後に行われた研究協議(足摺岬小)



【編集後記】11 月 8 日晚、442 年ぶりの天体ショーが自宅から見られた。太陽と地球が一直線に並び月全体が地球の影に完全に覆われる皆既月食と天王星食が同時に見られるのは、1580 年以來 442 年ぶりという。本能寺の変が 1582 年だから織田信長が亡くなる 2 年前になる。信長もこの天体ショーを見たのだろうか。次は 322 年後の 2344 年という。どんな世界が広がっているのだろうか。(田村)